

神社の杜(十三)

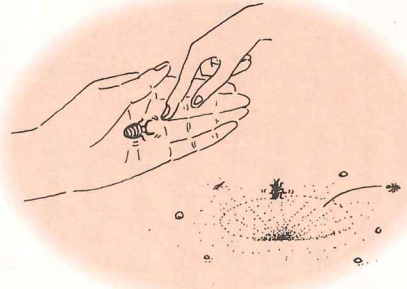
ビジターセンター 所長 片柳 茂生

テクボカクボってなんのこと?

カメ、ベコ、サルコ、アドシヤリ、スナムシ、ハカババ、……。当地御岳山ではと申しますと、テクボカクボと呼んでいます。

これはある生き物が日本各地で呼ばれている名称です。カメやベコはその生き物の形、サルコやアドシヤリは動作、スナムシやハカババは棲んでいるところからついたと思われるます。

他にもなぜこんな名前前で呼ばれているのかと言うような名前もあります。変わっているものでは、コテコテバアサン・タコ・ツクツクボウシ・デンデナムシ・スケスケ・カーネ

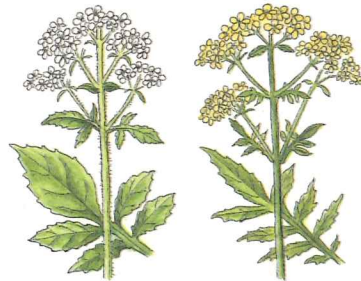


ンドなどがあります。蝉やカタツムリではありませんよ、もちろんタコでも。いったいこの生き物なんだと思いますか? 実は全てアリジゴクの名称なんです。全国ではなんと二〇〇以上の名前前で呼ばれていると言われています。

掘って出てこい」といいながらアリジゴクを捕まえたものです。奥多摩町や小菅村でもテクボとかテックボと呼んでいるようです。アリジゴクの名前の通り、巣にアリがうっかり入りもがいていると下から出てきてア리를捕まえ体液を吸ってしまふ。そして死んだアリの牛の角のような強い顎ではさみ、巢の外へ放り投げてしまします。面白いことに、アリジゴクの時にどれだけ養分を取れるかで

おみなえし 女郎花と

おとこえし 男郎花



オトコエシ

オミナエシ

秋の風情を伝える「秋の七草」。その一つでもあるオミナエシは、おみなめしが訛ったものと言われています。女性のような優しいさのある花で、黄色く小さな花の集まりを粟の飯にたとえています。

同じオミナエシ科の多年草オトコエシは、花の色が白く茎は直立し、草丈はメートル以上にもなります。やや粗大な感じがするのでこの名が付いたようです。いづれも日本各地で夏から秋にかけて、日当たりのよい山野に見られます。御岳山では、参道階段脇にオトコエシ、本殿横にはオミナエシが咲きます。当社参拝のおり、両方の花を見比べて下さい。

あ と が き

第十三号より、広報担当五名の内二名が替わり、新たな気持ちで秋号をお届け致します。石川要三奉賛会長、三橋健先生、双柳講鈴木義男様、新屋御嶽講鍵和田照子様には、玉稿を賜りありがとうございます。ございました。

平成十一年九月二十九日発行
編集 武蔵御嶽神社
印刷 (株)成和印刷
0496(七)8500
〔非売品〕